

取扱説明書

ECLE[®] リフォーム用オールラウンド錠 空錠(通路用)

- このたびは「ECLE[®] リフォーム用オールラウンド錠」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

お客様へ

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

マークの種類について

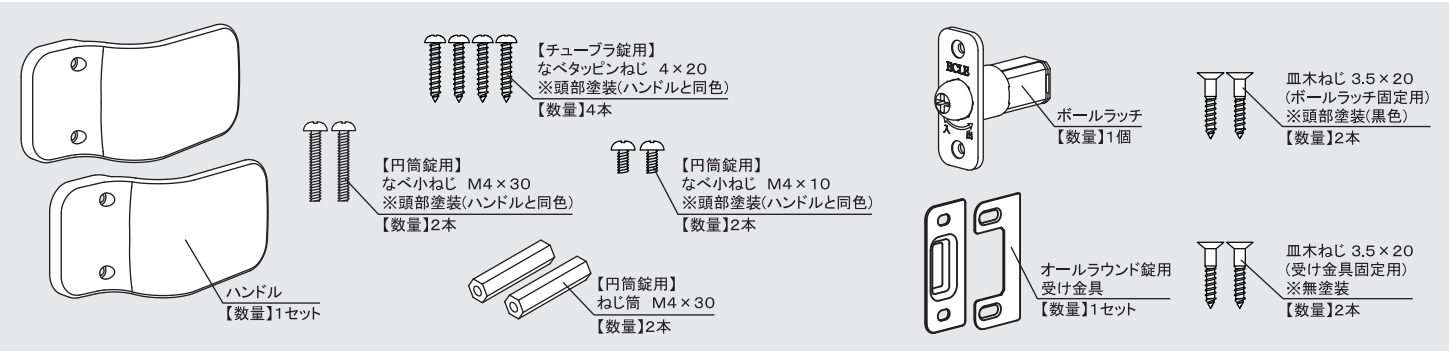
- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

もくじ

部品明細	1
安全上のご注意	1
取付方法	
・取付前の準備・確認事項	2
・チューブラ錠からの取替	2
・円筒錠からの取替	2
・オールラウンド錠用受け金具の取付け方法	3
・ボールラッチの取付け方法	3
・取替時のポイント	4
お手入れ方法	4
点検と安全の為にお願い	4
基本仕様	4
保証規定(保証書)	4
基本仕様	4

部品明細

- 取付け前に部品の不足がないかを確認する。



安全上のご注意

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容

- ❌ 気密性の高い住宅の扉には使用しない。
玄関扉や窓を開けた際に負圧の関係でオールラウンド錠を取付けた室内扉が急に開く可能性がある。(破損や変形、予期せぬ扉の開閉により重大事故の原因となる恐れがある。)
- ❌ オールラウンド錠が取付いている扉にもたれかかったり、体重をかけるなど、体をあずけるような使い方をしない。
(転倒やケガの原因となる。)
- ❌ 屋外・浴室・外部との出入り口の扉で使用しない。
(破損や変形、転倒やケガの原因となる。)
- ❌ 鉄扉やアルミ扉など、木製扉以外には使用しない。
(破損や変形の原因となる。)
- ❌ 指定寸法以外の扉に取付けない。(破損や変形の原因となる。)
※P.2『取付前の準備・確認事項』参照
- ❌ ねじ等必要な部品を省かない。
(破損や変形、転倒やケガの原因となる。)
- ❌ ハンドルを回転させようとしたり、ぶらさがったり、物をぶら下げない。(破損や変形、転倒やケガの原因となる。)
- ❌ 分解、改造は絶対にしない。
(破損や変形、転倒やケガの原因となる。)

- ❗ 使用対象となる住宅の環境や使用対象者に十分に配慮して取付けを行うこと。(事故の原因となる。)
- ❗ 既設のチューブラ錠と受け金具(ストライク)を必ずはずし、付属のボールラッチとオールラウンド錠用受け金具に交換する。
(破損や変形、事故の原因となる。)

- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容

- ❌ 一般住宅室内専用の為、それ以外の場所で使用しない。
(破損や変形、事故の原因となる。)
- ❌ 直射日光があたる場所で使用しない。
(破損や変形の原因となる。)
- ❌ 火気を近づけたり、ヒーター等(暖房機)の前で使用しない。
樹脂部品が破損、変形するなどの原因となる。
また、金属部分が熱くなりやけどの原因となる。
- ❌ 高所からの落下など強い衝撃を与えない。
(破損や変形の原因となる。)
- ❌ 海外で使用しない。※本製品は日本国内専用
- ❌ インパクトドライバーは使用しない。(破損や変形の原因となる。)
※電動ドライバーは使用してもよい
- ❗ 既設のねじ穴とピッチが違う場合はキリで下穴をあける。
(施工不良の原因となる。)
- ❗ 既設のねじ穴にずれや傷みがある場合や、既設のねじ穴が影響して木ねじがきかない、または、すぐにはずれる場合は木片(割りばしなど)を削って埋木をしてからねじ止めをする。
(施工不良の原因となる。)
- ❗ ※P.4『取替時のポイント』参照
- ❗ マンション等の賃貸住宅に取付ける場合は必ず賃貸住宅の管理者に確認を取った上で取付けを行う。

取付方法

取付前の準備・確認事項

❗ 本製品は扉を押す・引く力だけで扉を開閉し、ハンドル操作が不要となることが大きな特長である。
従来の錠前とは使用方法が異なるため、(事前に)設置する住宅の環境や使用者の状況に十分配慮すること。

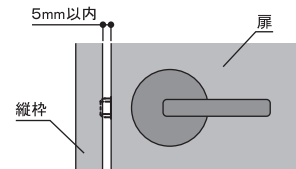
- 既設の錠前がチューブラ錠(丸座)、円筒錠のいずれかであること。
(長座のチューブラ錠は空錠に限り取替え可能。
ただし、座の跡を隠すことができないので注意すること。)
(インテグラル錠などのケース型の錠前、戸襖錠の場合は切欠きのサイズが合わないため取替えできない。)

● 施工に必要な工具類

- (+)ドライバー(No.2) (-)ドライバー
(円筒錠の場合) キリ等先のとがった工具
(円筒錠の場合)



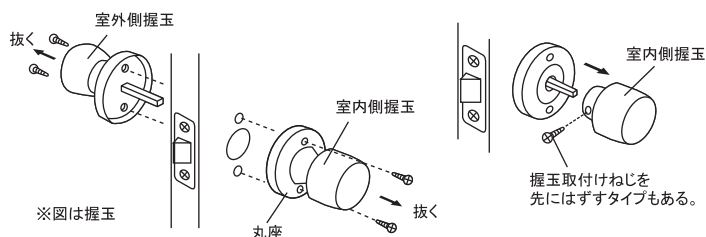
- ドアの厚みが30~42mmであること。
- 円筒錠の場合、切欠き穴がφ50~55mmであること。
- 縦枠と扉のすき間は5mm以内であること。



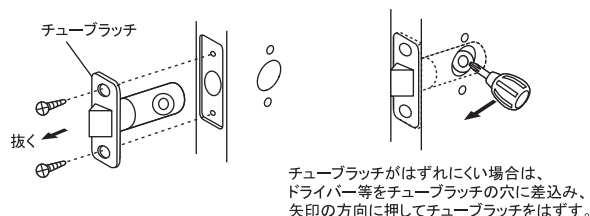
チューブラ錠からの取替

※取りはずし方法は一例であるため、イラスト・仕様は現物と異なる場合がある。

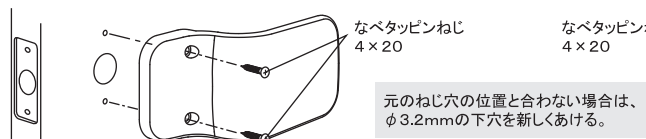
1. 丸座のねじをゆるめて握玉、またはレバーハンドルをはずす。



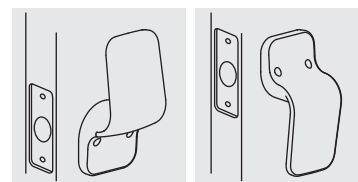
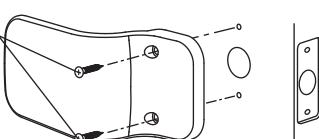
2. チューブラッチのねじをゆるめてチューブラッチをはずす。



3. 元のねじ穴の位置に合わせて、ハンドルを扉に取付ける。



4. 反対側も同様に、元のねじ穴の位置に合わせて、ハンドルを扉に取付ける。



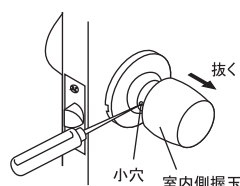
❗ インパクトドライバーは使用しない。

❗ ハンドルを取付けた後、ガタツキの有無を確認する。
ガタツキがある場合、ねじの締め忘れやしっかりとねじが締まっていない可能性がある。

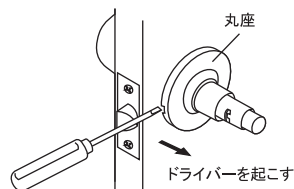
円筒錠からの取替

※取りはずし方法は一例であるため、イラスト・仕様は現物と異なる場合がある。

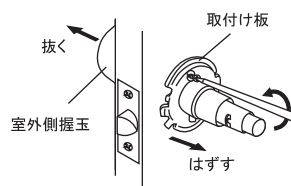
1. キリ等先のとがった工具で室内側握玉にある小穴奥の突起物を強く押しながら、握玉をはずす。



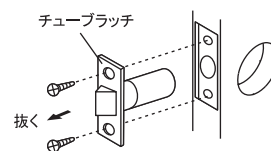
2. 丸座の切り込みに(-)ドライバーを差込み、丸座をはずす。



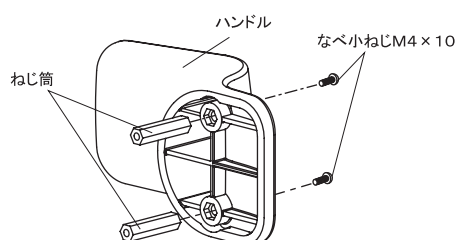
3. 上下2本のねじを(+)ドライバーでゆるめて、取付け板と室外側握玉をはずす。



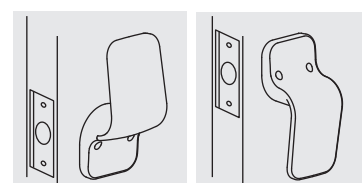
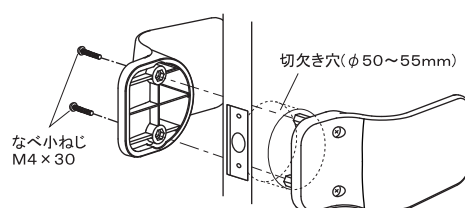
4. チューブラッチのねじをゆるめてチューブラッチをはずす。



5. ハンドルの裏面の六角形の穴にねじ筒を差込み、なべ小ねじM4×10で固定する。



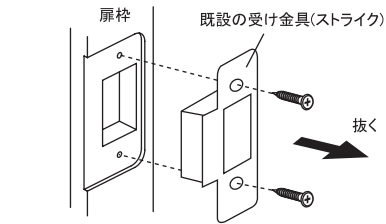
6. ハンドルに取付けたねじ筒を扉の切欠き穴に通す。扉を挟むようにして反対側からなべ小ねじM4×30でねじ筒にハンドルを固定して扉に取付ける。



❗ ハンドルを取付けた後、ガタツキの有無を確認する。
ガタツキがある場合、ねじの締め忘れやしっかりとねじが締まっていない可能性がある。

オールラウンド錠用受け金具の取付け方法(チューブラ錠・円筒錠 共通)

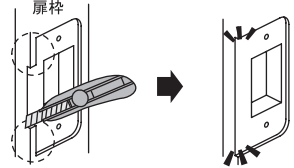
1. 既設の受け金具(ストライク)を扉枠から取りはずす。
取りはずしたあと、オールラウンド錠用受け金具が切欠きにはまるか確認する。



- ・既設の受け金具(ストライク)はオールラウンド錠と互換性がないため、必ず取りはずすこと。



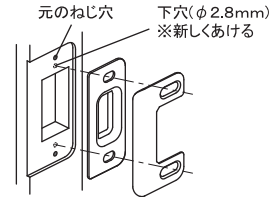
- ・切欠きサイズが小さい場合や、形状が合わずオールラウンド錠用受け金具が扉枠に干渉する場合は、カッターなどで切欠きを削り広げ、形状を整えてから取付ける。



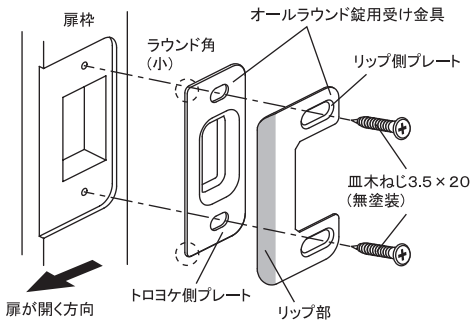
※作業時のケガや、削りすぎに注意する



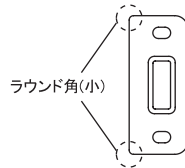
- ・元のねじ穴の位置が合わない場合は、オールラウンド錠用受け金具の穴位置に合わせてφ2.8mmの下穴を新しくあける。



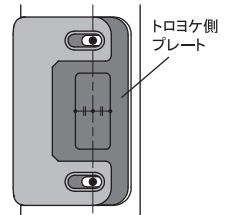
2. 扉枠側から順に、【トロヨケ側プレート→リップ側プレート】となるように、皿木ねじ3.5×20(無塗装)でオールラウンド錠用受け金具を取付ける。



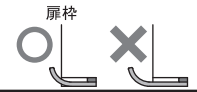
- ・トロヨケ側プレートは、ラウンド角(小)を扉が開く方向に向けて取付けること。



- ・扉枠のねじ穴位置と、トロヨケ側プレートの凹みの中心を合わせてねじを締める。



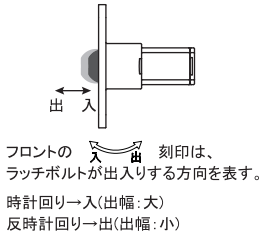
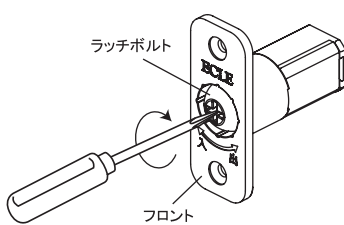
- ・リップ部が扉枠から大きく飛び出さないように取付ける。



- ・インパクトドライバーは使用しない。

ボールラッチの取付け方法(チューブラ錠・円筒錠 共通)

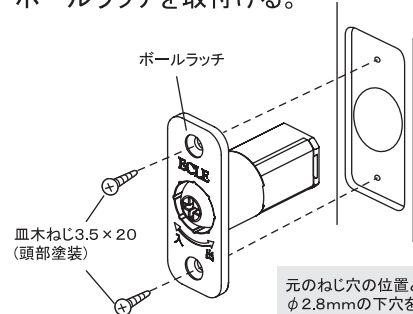
1. ラッチボルト先端の十字穴に(+)ドライバーを差込み、フロント刻印の「入」の矢印の方向に回転させる。フロントとラッチボルトの先端がフラットになるまで出幅を小さくする。



- ・閉め出しまたは、閉じ込め防止の為、オールラウンド錠用受け金具を取付けるまでラッチボルトの出幅は小さくし、扉枠に当たらないようにする。



2. チューブララッチが取付いていた扉の切欠きに、ボールラッチを取付ける。

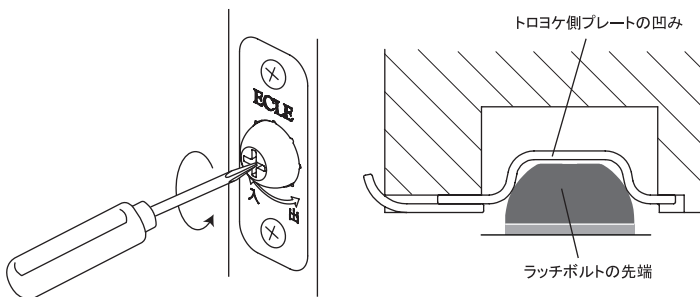


元のねじ穴の位置と合わない場合は、φ2.8mmの下穴を新しくあける。

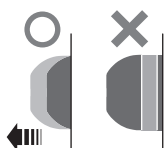


- ・インパクトドライバーは使用しない。

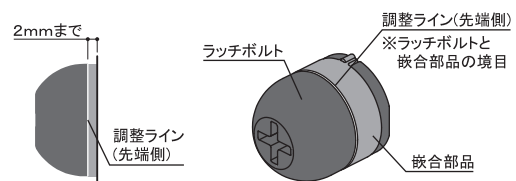
3. ラッチボルトを「出」の方向に少しずつ回転させて、出幅を大きくする。トロヨケ側プレートの凹みにラッチボルトの先端がはまることで扉をホールドさせる。



- ・ラッチボルトは一度に大きく出しすぎない。出幅を大きくすぎると、扉が閉まらず、ラッチボルトが破損する場合がある。



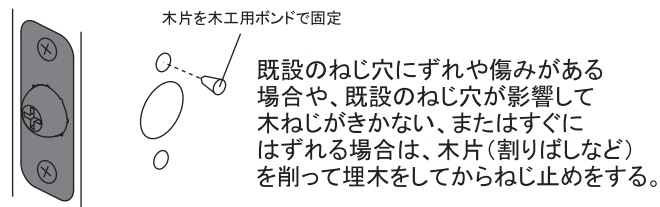
ラッチボルトの出幅の調整可能範囲



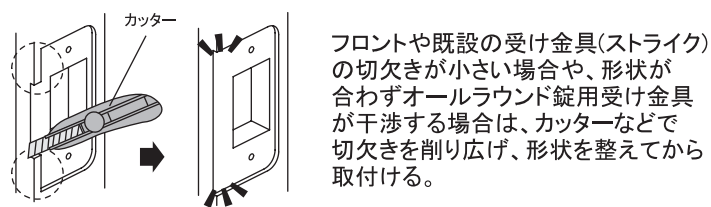
ラッチボルトの出幅は、調整ライン(先端側)が見えるところから2mmまで出したところを調整可能範囲とする。ラッチボルトを出しすぎると、扉が閉まらなくなったり、勢いよく扉を閉めたときにラッチボルトが破損するなどの可能性がある。

取替時のポイント

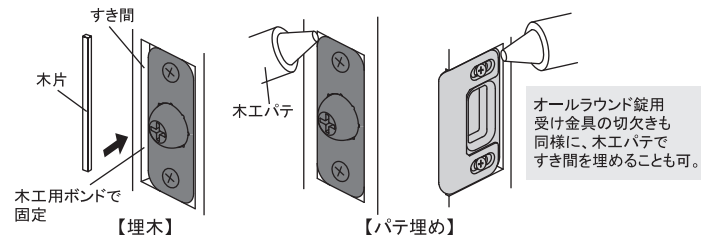
●既設のねじ穴にずれや傷みがある場合の対処方法



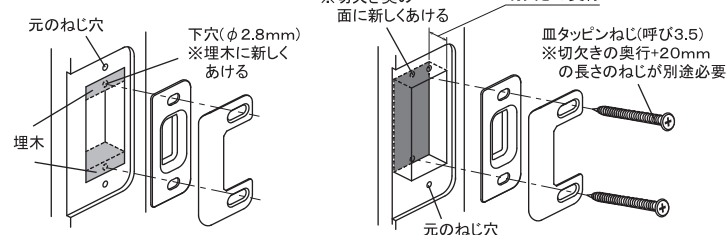
●切欠きのサイズが小さい場合の対処方法



●切欠きのサイズが大きい場合の対処方法



フロントの切欠きサイズが大きい場合は、木片(割りばしなど)を削って埋木をして納める。
四隅がピン角など、埋木のみですき間が解消できない場合は、木工パテですき間を埋めることも可。



オールラウンド錠用受け金具のねじ穴と、元のねじ穴の位置が合わず、かつ、切欠き上にねじを打てない場合は埋木をして納める。
あるいは、付属の血木ねじよりも長いねじ(呼び3.5・長さは切欠きの奥行+20mm)を別途用意し、切欠き奥の面にねじを効かせて固定する。

お手入れ方法

●中性洗剤でのお手入れ

1. うすめた中性洗剤を含んだ柔らかい布で拭きとる。
2. 洗剤が残らないように水拭きする。
3. 最後に柔らかい布で水気を完全に拭きとる。

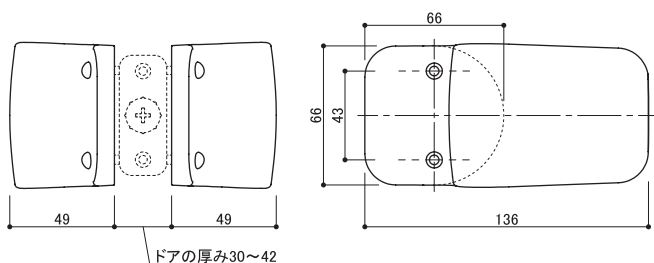
- ・酸性、アルカリ性洗剤やシンナー、ベンジン等の有機溶剤は使用しない。(変形変色の原因となる。)
- ・クレンザー、磨き粉、ナイロンたわし等は使用しない。(傷の原因となる。)

点検と安全の為のお願い

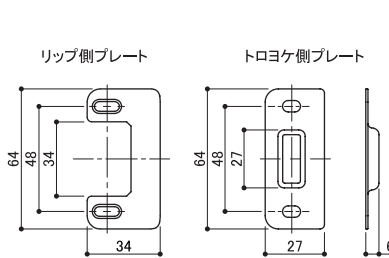
- 定期的にねじのゆるみがないかを点検する。ゆるみがあった場合はねじを増し締めする。
- 定期的にボールラッチが破損していないかを確認する。ラッチボルトの先端が摩耗し、扉が開きやすくなっている場合は出幅を変えて扉の開閉具合を調整する。なお、ボールラッチは消耗品の為、約5年を目安に新しいものに取替える。

基本仕様

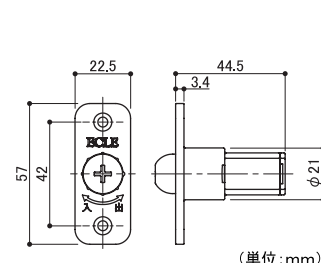
品名：ハンドル
材質：PP樹脂



品名：オールラウンド錠用受け金具
材質：ステンレス



品名：ボールラッチ
材質：ASA・POM樹脂



保証規定(保証書)

●保証期間:お買い上げ日より1年

お買い上げ日:(年 月 日)

この保証規定は、故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後1年以内であれば、無償にて商品の交換をお約束するものです。(取付け交換は含まない)
ただし下記の場合は、保証期間内においても有償修理交換となります。

- (1)本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの。
- (2)火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの。
- (3)お買い上げ後の落下、輸送による損傷。
- (4)使用による外観や本体外部の消耗および傷。
- (5)リサイクル業者や使用者などによる再販など、当社の責任範囲を超える場合など。
- (6)日本国外での使用。
- (7)本書の提示のない場合。
- (8)施工不備による損傷および不具合。
- (9)レシートがない場合。

ここにレシートを貼付けて
保管してください。

発売元
マツ六株式会社
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
<https://www.mazroc.co.jp/>

2026年3月1日制定【00】